



株式会社 恵那川上屋 担当/井戸

恵那川上屋の新店舗 栗市栗座 岐阜駅店オープンのお知らせ

和洋菓子を製造販売している株式会社恵那川上屋（本社/岐阜県恵那市大井町2632-105、代表取締役 鎌田真悟）は2025年3月27日（木）、栗市栗座岐阜駅店をオープンいたしましたのでここにお知らせいたします。

■店舗情報

名称 恵那川上屋 栗市栗座岐阜駅店
住所 岐阜県岐阜市橋本町1丁目10-1
電話 058-215-9639
営業時間 10:00～ 21:00
定休日 なし

■オープン日

2025年3月27日（木）

■店舗概要

別紙資料（2P目以降）を参照ください

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

株式会社 恵那川上屋 〒509-7201 岐阜県恵那市大井町2632-105 TEL.0573-25-2470

経営本部 営業統括：清見（E-Mail/ kenichi.kiyomi@enakawakamiya.co.jp）

マーケティング本部：井戸（E-Mail/ ido@enakawakamiya.co.jp）

JR岐阜駅「ASTY岐阜」に 恵那川上屋の新店がオープンしました



歴史と文化、おもてなしの心が息づくまち、岐阜エリア

岐阜のシンボルといえば、金華山の頂にそびえる岐阜城。戦国時代には織田信長が居城とし、この地を拠点に天下統一を目指しました。城からの壮大な眺めは、信長が見据えた未来を彷彿とさせます。

城のふもとに広がる城下町は信長の「楽市楽座」の政策によって発展し、商業や文化が花開きました。今も川原町には、当時の趣を残す町並みが広がり、歴史を感じながら散策を楽しめます。

信長は戦いだけでなく、もてなしの名手としても知られています。茶の湯を取り入れ、客人を迎えるための豪華な宴を催すなど、「おもてなし」の精神を大切にしました。現在の岐阜市でも、長良川の鵜飼や伝統文化が受け継がれ、訪れる人々を温かく迎えています。

岐阜の玄関口から、栗を通じて縁日のようなにぎわいを生み出します

岐阜駅にこのたび新規オープンした「恵那川上屋 栗市栗座 岐阜駅店」では、岐阜風情を大切に、岐阜らしさを創出した店づくりを行ってまいります。栗づくしの市、栗好きが集う座である「栗市栗座」。ここでは、栗を通じた楽しみや憩いを提供し、観光客も地元の人々も、子どもも大人もご年配も、垣根なくご縁を結ぶ場を目指します。まるで縁日のようなにぎわいのなかで、訪れる人々が栗を味わい、笑顔になれる空間を創出します。

恵那川上屋は2024年におかげさまで創業60周年を迎えました。この新店舗を新たな始まりの場とし、日本一の栗菓子屋として、ブランド発信を継続してまいります。栗市栗座が観光と地域の架け橋となり、岐阜に新たな活力をもたらせたらと考えております。

【取り扱い商品一例】



■岐阜サブレ

「岐阜・西濃」「中濃」「東濃」「飛騨」の地域ごとに4種類展開。

それぞれの地域の観光名所や名物をデザインしたパッケージは、4種組み合わせると岐阜の地図が浮き上がります。「岐阜・西濃」には淡墨桜、富有柿、鶺鴒、岐阜城、岐阜提灯、たらい舟、養老の滝、関ヶ原、スピルリナのイラストをあしらひ、材料には地域で栽培技術が確立された淡水藻・スピルリナを使用して「山ののり味」に仕上げました。その他3つの地域でも同様に、各地域ならではの魅力と味わいをお届け。4種とも焙煎して粉末にした栗入りで、香ばしい仕上がります。(4種入/本体価格:2200円)